教科	国語	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価資料
一　表現・対話・思想 わたしはふしぎでたまらない	9	●文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。 ●伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 ●文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読む」ことにおいて、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	・「読む」ことにおいて、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・「読む」ことにおいて、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	・すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしたり、それを聞いて感想を述べたりしようとしている。 ・積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。	
二　自然・環境・化学 これは脳がもともともっている癖です	18	●文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。 ●文章構成を捉え、要約に生かす。 ●「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。 ●資料を比較して共通点と相違点を見つけるとともに、 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考える。 ●漢字の部首についての理解を深める。 ●日本語の音の特徴を理解する。 ●聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ●相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・「読む」ことにおいて、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ・「読む」ことにおいて、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えるとともに、学習課題にそって文章にまとめようとしている。 ・粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、学習課題にそって資料などを引用して考えたことを書こうとしている。 ・積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今まで の学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 ・積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。 ・粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。	
三　人事・多様性・平和 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た　世界をひらく	12	●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ●写真を見ることの観点を知り、写真の特徴を理解する。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。 ●振仮と活字の字体についての理解を深める。 ●集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ●目的や意図を意識して、案内文を書く。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	・「読む」ことにおいて、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを探索しようとしている。 ・粘り強く情報の整理の仕方についての理解を深めるとともに、学習課題にそって創作しようとしている。 ・積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今まで の学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。 ・すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。	
四　自然・環境・科学 森と川と海は一つなのだ	18	●持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 ●必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ●問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。 ●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 ●意見と根拠の関係を理解する。 ●根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 ●広告を見ることの観点を知り、広告の特徴について理解する。 ●目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・事象や行為を表す語句の量を増すことも、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解している。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文の成分の順序や部位などの構成について理解を深めている。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて、叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。	・粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えたことを書こうとしている。 ・積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。 ・すすんで文の成分の順序や部位について理解し、今までの学習を生かして文の構成について理解を深めようとしている。 ・すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。 ・積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべき事を整理して書こうとしている。	・授業観察 ・ノート ・創作作品 ・定期考査 ・ワークブック ・発表 ・ワークシート ・自己評価表
五　伝説・文化・歴史 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり	11	●古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる ●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ●「竹取物語」について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。 ●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ・古典には様々な種類の作品があることを知っている。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	・すすんで音読に必要な文語のきまりを知り、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを話し合おうとしている。 ・すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ・すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして小説を読んで考えたことを記録しようとしている。	
六　身体・生命・家族 白象は寂しく笑ってそう言った	13	●場面と描写を結びつけて読む。 ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ●作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。 ●身近に起きたことや経験したことを まとめて、叙述の仕方を考える。 ●日本語を書き表す文字の特徴を理解する	・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「形名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・「書くこと」において、語みの立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	・すすんで表現の技法を理解するとともに、粘り強く考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって話筆を書こうとしている。 ・積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今まで の学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	
七　近代化・国際社会・共生 子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています	8	●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ●論理の構成や展開に着目し、筆者の主張を捉え。 ●自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。 ●自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ●母子の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。 ●漢字の音と訓についての理解を深める。	・事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	・粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。 ・積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今まで の学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	
八　伝統・文化・歴史 ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである	19	●問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ●事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ●筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。 ●要点を箇条にまとめる。 ●読み手の立場に立って、文章を整える。 ●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。 ●話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 ●漢字の表現の特徴について理解する。 ●漢字の中の姓と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 ●熟語の構成の基本的な型を知る。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。 ・すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして要旨を捉えることの大切さを理解しようとしている。 ・すすんで言葉の意味を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。 ・すすんで必要な情報に着目するとともに、学習課題にそって集めた情報を活用しようとしている。 ・積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	
九　自己・他者・物語 「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」	10	●それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。 ●語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。 ●方言と共通語の特徴について知る。	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・「書くこと」において、語みの立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	・すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。 ・粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。 ・すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	
書写	22		・楷書の特徴を理解し、止めやはらいに注意して書いている。 ・漢字と仮名の調和を理解して書いている。 ・課題文字の特徴を理解し、筆づかいに注意して書いている。 ・さまざまな筆記用具を使って、用途に合わせた文字を書いている。 ・姿勢・執筆、用具の扱い、楷書の点画の特徴などを正しく把握している。	・字形を整えることを意識して書いている。	・すすんで漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、粘り強く練習を重ねている。	